

2022年7月1日  
安田不動産株式会社

報道関係各位

## 再生可能エネルギーの活用について

# 東京エリア22 棟の電力を再生可能エネルギー由来に

安田不動産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川雅弘）は、このたび本社を構える神田錦町に所在する建物をはじめとした運用・管理中の計 22 棟のビルにおいて使用する電力を、再生可能エネルギー由来の電力（以下、「再エネ電力」）に切替えました。この切替えによって、年間約 18,400MWh の再生可能エネルギーを利用し、年間で約 8,000 トンの CO<sub>2</sub>削減を見込んでおり、すでに導入済のワテラスと関西商業ビル 3 棟を合計すると年間約 15,000 トンの CO<sub>2</sub>を削減する予定です。

なお今回、導入する再エネ電力は、東京電力エナジーパートナー株式会社、および株式会社エネットが提供するトラッキング付非化石証書を活用した「RE100」対応の電力であるため、各施設の入居者（※1）は、実質再エネ由来 100%の環境価値のついた再エネ電力を利用できるようになります。当社は今回の取り組みをはじめとして、再エネ電力活用の対象物件を順次追加してまいります。



マークライト虎ノ門



錦町トラッドスクエア



HAMACHO HOTEL&APARTMENTS

### <導入ビル 22 棟>

マークライト虎ノ門、錦町トラッドスクエア、三洋安田ビル、竹橋安田ビル、竹橋スクエア、神田橋安田ビル、安田シーケンスタワー、名古屋ビル本館、NTF 竹橋ビル、竹橋 3-3 ビル、名鉄不動産竹橋ビル、安田グリーンパーク、コンフォール安田ビル、神田ポートビル、昭栄第 2 錦町ビル、HAMACHO HOTEL&APARTMENTS、スプラウト日本橋浜町、青山安田ビル、お茶の水ユニオンビル、ナールお茶の水、市ヶ谷安田ビル、渋谷 KI ビル

- ※ 1 一部ビルについては施設共用部で使用する電力のみの切替えを行っています。
- ※ 2 コンフォール安田ビル・渋谷 KIビルは、昨年 10 月より安田不動産投資顧問株式会社が資産運用する安田不動産プライベートリート投資法人より、PM 業務を受託しております。
- ※ 3 CO<sub>2</sub>排出係数は東京電力エナジーパートナー株式会社、株式会社エネットの 2020 年度実績（調整後）に基づき算定

**<リリースに関するお問い合わせ先>**

安田不動産株式会社 経営企画部 広海(ひろうみ)・佐藤

TEL 03-5259-0517 FAX 03-5259-0532